

日 時：2022 年 11 月 17 日（木）14:00～15:30

場 所：Web 会議形式での開催

出席者：藤野裕士（理事長）、内田寛治、大塚将秀、志馬伸朗、
竹内宗之、竹田晋浩、平井豊博、中根正樹、
石井宣大、佐藤暢一、玉木 彰、茂呂悦子（各理事）、
川前金幸、西田 修（監事）

欠席者：近藤康博（理事）

[敬称略]

【開 会】（藤野理事長）

- ・理事会開催に必要な理事の過半数の出席が報告され開会が宣言された。

I. 報告事項

1. 前回理事会・総会議事録の確認・承認（藤野理事長）

- ・前回議事録は、原案どおり承認された。

2. 持ち回り理事会（審議 0 件、連絡 2 件）決定事項の承認（藤野理事長）

- ・連絡事項 2 件を確認した。

3. 理事長報告（藤野理事長）

1) 日本臓器移植関連学会協議会（2022/7/15、Web 形式）

- ・上記協議会に学会を代表して出席した。

2) 第 47 回学術集会会長の件（2025 年度、大阪）

- ・第 47 回会長に承認された内山昭則代議員（大阪大学医学部附属病院集中治療部）より総会後に就任を辞退する旨の届出があり了承した。会長には、後任准教授の吉田健史代議員を委嘱した。次回の理事会で推薦状を提出する。

3) 前理事に寄せられた医療事故相談

- ・尾崎前理事宛に医療事故相談が寄せられ、尾崎前理事が個人の立場で回答した内容を理事会で共有した。

4. 事務局からの報告（佐藤理事）

- ・2022 年 11 月 1 日時点の会員数が以下のとおり報告された。

一般会員：1,914 名（Dr 1,146、Ns 272、CE 340、PT 120、他 36）

賛助会員：15 社／年間購読契約：10 件

- ・会員動向は増加傾向にあり、医師会員の増加が全体を牽引している。看護師・臨床工学技士は微減、理学療法士は横ばいとなっている。
- ・賛助会員は、当初 17 社の予定が 15 社となった。

- ・一般会員の会費納入状況は、2021 年度が 93.1%、2022 年度が 76.0%となった。2022 年度分の未納者には事務局より督促を行う。

5. 学術集会報告・準備状況

1) 第 44 回学術集会（代 藤野理事長）

2022 年 8 月 6 日（土）・7 日（日）パシフィコ横浜ノース

（現地開催＋オンデマンド配信） 「Break Through 扉を開けよう」

- ・本学術集会開催にあたり、理事・監事各位に多大なご尽力をいただいたことに対して讃井前会長からの感謝の言葉が伝えられた。
- ・参加者数は、現地参加＝延べ 834 名（2 日間）、オンデマンド含む全参加登録数＝1,554 名（招待・協賛企業関係者含む）であった。
- ・オンデマンド配信は 8/22 に開始し、予定を 1 週間延長し 10/3 まで実施された。
- ・次回の理事会までに収支決算報告を運営事務局に依頼している。
- ・今後の学術集会運営にあたり、コンベンション社と本体事務局との情報共有を密に行うよう監事から指摘があった。

2) 第 45 回学術集会（代 藤野理事長）

2023 年 8 月 5 日（土）・6 日（日）ウイנקあいち（名古屋）

「つなぐ ～ニューノーマルへ Connecting the Dots」

- ・プログラムの進捗が報告された。3 名の海外演者を招聘し、うち 2 件の企業支援内諾を得た。企業との共催セミナーについては内諾を含め 9 件が決定した。

3) 第 46 回学術集会（中根副会長）

2024 年 6 月 28 日（金）・29 日（土）天童ホテルほか（山形）

- ・会場が決定し、前日の会合を含む 3 日間の会場別プログラム案が提示された。
- ・運営事務局はクレッシー社に依頼した。

6. 事業報告

1) セミナー事業（大塚理事）

- ・呼吸療法専門医受験水準の医師向けセミナー第 1 回 **Refresher** コース（オンライン、10/1～11/30）を実施中。受講料は 12,100 円（税込）で 150 名の申込を得た。
- ・ECMO net 様（竹田理事）、日本呼吸器学会様（平井理事、近藤理事、富井先生）にメール配信・HP 案内などによる宣伝協力をいただいた。
- ・日本集中治療医学会サマーキャンプでのハンズオン企画について進捗を確認する。

2) 呼吸療法専門医 2022 年度〈更新・新規〉申請状況（佐藤委員長）

- ・8/1～9/30 に更新 14 名（対象 15）、新規 36 名からの申請があった。
- ・申請期間後に未申請の 1 名より更新希望の連絡があり更新審査料とあわせて受付をした。新規のうち 1 名が業務の都合で受験不可となり、次年度に申請いただく。
- ・12/3(土)11:30～13:00 に新大阪にて筆記試験を実施する。

7. 各委員会報告

- 1) チーム医療推進委員会（茂呂副理事）
 - ・第 45 回学術集会で委員会企画を計画しており Web 会議で検討を進める。
- 2) RST プロジェクト（佐藤理事）
 - ・日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会（11/11・12、幕張）にて RST 募集のブースを設置し宣伝を行った。来訪者と認定・登録に関する有意義な情報交換を行った。登録制度の認知に向けて引き続き宣伝に努める。
- 3) 安全対策・危機管理委員会（中根委員長・内田理事）
 - ・人工呼吸器安全使用のための指針（第 2 版、2011 年）の改訂作業に着手した。委員で担当範囲を分担し、改訂ポイントの検討を進めている。
 - ・パブリックコメントの実施も予定している。
- 4) 社会保険委員会（志馬委員長）
 - ・11/22 に改訂提案者（4 名）を交えて、令和 6 年度診療報酬改定「提案意向調査」検討 Web 会議を実施する予定。12/7 の期限までにエビデンスや当該調査結果などを取りまとめ、内保連に「提案意向調査」を提出する。
 - ・要望事項が認められるには、当該機器が学会のガイドラインに掲載されている、対象疾患にかかるエビデンスが明示されている、実施にかかる財源が確保されているなどの諸条件が重要となることを確認した。
- 5) 学術研究推進委員会（志馬理事）
 - ・学会承認研究の進捗について、以下のとおり報告した。
 1. VAE 研究：進行が滞り難渋している。期限を設けて督促する。
 2. ECMO 時の PEEP の有用性に関する研究：委員会に諮り RCT として進める。
 3. COVID-19 におけるハイフロー研究：委員会に諮り学会承認研究とする。
- 6) 気管吸引ガイドライン改訂ワーキンググループ（中根委員長）
 - ・気管吸引ガイドライン 2023 の作成をロードマップに則り進行中である。

8. その他

- 1) 2022 年度理事会日程
 - ・第 2 回理事会（Web 形式） 2 月 16 日（木）14:00～15:30
 - ・第 3 回理事会（Web 形式） 5 月 25 日（木）14:00～15:30
 - ・第 4 回理事会（集合形式、名古屋） 8 月 4 日（金）14:00～15:00

II. 審議事項

第 1 号議案 委員会・担当理事の人事（藤野理事長）

- 1) 担当理事：以下のとおり承認された（敬称略）。
 - ・将来計画・財務委員会 藤野
 - ・人工呼吸編集委員会 竹内（委員長兼任）
 - ・代議員審査委員会 平井

- ・小児在宅人工呼吸検討委員会 竹内
- ・セミナー委員会 大塚・玉木（副）
- ・チーム医療推進委員会 大塚・茂呂（副）
- ・安全対策・危機管理委員会 内田・石井（副）
- ・専門医委員会 藤野
- ・ECMO プロジェクト委員会 竹田
- ・利益相反委員会 竹田
- ・社会保険委員会 平井
- ・倫理委員会 志馬
- ・学術集会あり方検討委員会 近藤（委員長兼任）
- ・学術研究推進委員会 志馬
- ・自発呼吸（ad hoc 委員会） 中根
- ・気管吸引（ad hoc 委員会） 中根（委員長兼任）

2) 専門医委員・社会保険委員 阿部信二代議員が就任した。

第2号議案 定款施行細則・委員会規則 変更の件（大塚理事・藤野理事長）

1) 定款施行細則：以下の規則の変更が承認された。

第13条 理事・監事の立候補者が定数内だった場合の規定

第18条 理事選挙が行われなかった場合の新理事長選出の規定

第24条 会長・副会長の任期などにかかる規定

- ・役員選挙の際、理事・監事の立候補者が定数内だった場合の対応が規定されていなかった。定款施行細則第13条で、投票は行わず定時社員総会で出席代議員の過半数の承認をもって選出する規定を追加した。
- ・新理事長を選出する際、理事選挙が行われなかった場合は、役員選挙に立候補した理事全員を新理事長候補とする規定を追加した。
- ・会長を選出する際、会長の任期は担当学術集会前年の学術集会最終日の翌日から、担当学術集会の最終日までとする規定を追加し、副会長の任期は、選出された事業年度の学術集会最終日の翌日から、2年後の事業年度に開催される学術集会の最終日までとする規定を追加した。

2) 学術集会あり方検討委員会規則 第2条 組織にかかる規定

- ・委員長は会長が務め、1年ごとに委員長が交代していく規定を追加した。

第3号議案 呼吸療法専門医 更新審査結果の件（佐藤委員長）

- ・専門医委員会で審査した14名の更新が承認された。

第4号議案 日本集中治療医学会との合同セッションの件（代 藤野理事長）

- ・両学会の企画担当者が決定し、担当者同士で審議を行うこととした。

[本会；長谷川隆一先生 ／日本集中治療医学会様； 竹内宗之先生]

第 5 号議案 ARDS 診療ガイドライン 2026 の件（竹内理事）

- ・日本呼吸器学会・日本集中治療医学会・日本呼吸療法医学会の 3 学会が合同で制作した『ARDS 診療ガイドライン』は 2026 年の改訂に向け準備が開始している。日本集中治療医学会で担当理事をしている竹内理事から引き続き 3 学会合同での制作に本会が参画することについて上申があり、承認された。

第 6 号議案 小児在宅第 2 版の買取分の件（藤野理事）

- ・『小児在宅人工呼吸療法マニュアル第 2 版』（B5 判、272 頁、カラー、5,000 円〈税別〉、2,000 部）については、第 1 刷 2,000 部完売時には 80 万円が印税収入となる一方、350 部（175 万円〈税別〉）は学会が先行買取を行うことが制作要件に含まれていた。
- ・8/2 からの販売開始後、著者・委員から送料込みの 303 部の注文があり買取分の売上に貢献いただいた。あわせて早々に第 2 刷 800 部が増刷された。
- ・学会買取分の残り 47 部の販促案を継続審議することとした。

第 7 号議案 会員同士の情報交換の場の件（大塚理事）

- ・呼吸管理や人工呼吸関連機器などについて、会員同士の情報交換ツールの設置要望が会員から届いた。過去にも同様の提案はあり、セミナーでも類似の質問が多い。
- ・懸念されるのは、仮に会員同士の意見交換で保険適応外の治療や規格外の機器使用に言及された場合、学会がそれらを推奨するような印象を与えかねない点である。
- ・要望いただいた藤澤美智子会員にはチーム医療推進委員会に参画し議論を進めていただくこととした。

第 8 号議案 RST 認定要件の変更の件（佐藤理事）

- ・現行の RST 認定・登録の手順第 3 項において「代表者は原則として医師とし、必ず両学会いずれかに入会」と定められている。本プロジェクト推進のためその要件を緩和し「代表者の職種は問わない」と変更することが承認された。

Ⅲ. 2022 年度上半期会計報告

2022 年度上半期進捗報告（佐藤理事）

< 収 入 >

- ・年会費：医師 864 名、多職種 579 名、合計 1,443 名分（76%）の会費収入を計上。
- ・事業費：6～7 月開催の第 51 回セミナーの参加費のみ計上。10～11 月の Refresher コース、2～3 月の Basic コースは下半期に計上予定。
- ・専門医：更新審査料 14 万円（14 名）、審査料（新規）36 万円（36 名）が納入。

- ・研修施設：更新審査料 24 万円（12 施設）、審査料（新規）22 万円（11 施設）が納入。登録料も 22 万円になるべきところ、あと 1 施設の納入待ち。
- ・広告費：1 号はユーザーレポート 2 社のみ。2 号も 2 社で確定。本年は例年に比べて掲載社数減。広告は電子版に移行し、前年度は 2 社あったが本年度は 0 社となった。学会誌に広告を載せるのは今後も厳しく、ホームページのバナー掲載をむしろ強化していくべきか。
- ・機関誌：ユーザーレポートの別刷が 1 社から発注があり計上（コヴィディエン、39-1 号、2,000 部）
- ・書籍販売：ECMO・PCPS バイブル、70 万の印税収入あり。
- ・小児在宅：買取分から売上のあった 303 部の料金・送料が納入。

<支 出>

- ・機関誌：過去の学会誌を PDF 化して学会ホームページに掲載した件、42 万円支払。
- ・書籍販売：小児在宅の 350 部買取額＋送料該当分を支払。
- ・事業費：医師向けセミナーは下半期に計上予定。
- ・委員会費：おおよそ予定どおり。
- ・学術集会：収入も支出も未計上。年内に収支報告が届く予定。
- ・社員総会：会場費を下半期に計上予定。
- ・委託費：本年度より変更した額を支払。
- ・事務費：書籍制作によりコピー（＋出力）代が増加。